

■ 水冷クーラーを取り付ける

下準備を行った水冷クーラーを取り付ける。PCケースにラジエーターを取り付けたあとに、CPUに水冷ヘッドを固定、各種ケーブルの接続といった作業順になる。

16. ラジエーターの取り付け

16-1▶

ラジエーターの取り付け

▶本構成では冷却液チューブが、PCケース背面側に位置するように設置している。ファンは、この配置を想定して取り付け、ケーブルも裏面配線を想定して組んでいる。



16-2▶

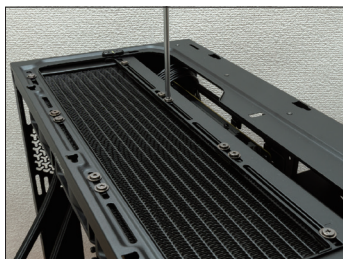
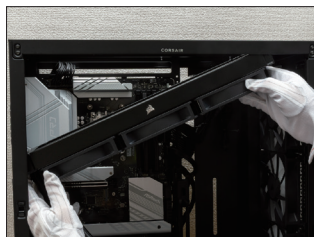
ファンケーブルをまとめておく



◀▶ファンケーブルを、結束バンドでまとめておこう。本構成では、天面のラジエーターマウンターを、120mm位置に調節。

16-3▶

付属のネジで固定する



◀▶ラジエーターを斜めにすると、組みつけしやすい。水冷クーラー付属ネジで仮留め。ネジは少しずつ均等に締め込もう。

17. 水冷ヘッドの取り付け

17-1▶

水冷ヘッドを置く



◀▶チューブがメモリスロット側に位置するように、水冷ヘッドをスタンドオフに置こう。付属のネジを手で回して仮留めしよう。

17-2▶

増し締めしてしっかりと固定



◀▶水冷ヘッドの設置、チューブのよじれを確認。大丈夫なら、均等に圧がかかるように、対角線上のネジを少しずつ締め込もう。



必要に応じてグリスを塗布

▶本構成は、水冷ヘッドにグリスが塗布済みだが、構成によっては塗布が必要。グリスは米粒の1/3程度を、X字状に5点出す感じだ。



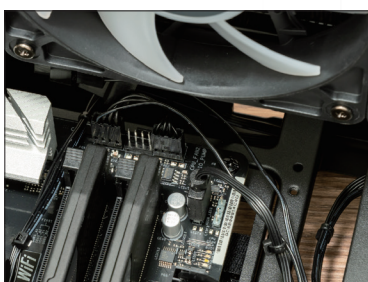
18. ファン、ARGBケーブルの接続

18-1▶ 3箇所に接続する



◀マザーボード右上のCPUクーラー向けPWMファン電源と、ARGBコネクタに接続する。

18-2▶ 水冷ヘッドも接続



◀ラジエーターファンに加え、水冷ヘッドのポンプと、ARGBケーブルを接続しよう。

18-3▶ 裏面で取りまとめ



◀PWMファンとARGBケーブルは、裏面を通して、配線まとめるのがおすすめ。